

蒲原町

地形概況

富士川河口西部の砂礫質扇状地、吹上浜から海岸にそう砂堆地の低地が細長くのびる。礫層の厚い蒲原丘陵は開析が進み、急な谷壁をもつ堰沢川・向田川ぞいに段丘面も残り、その南縁は海食崖となる。北部の大丸山一帯は岩渕火山性山地の延長である。

地質概況

北部の山地は安山岩質の溶岩と凝灰角礫岩層の岩渕累層からなり、その南には蒲原礫層の丘陵がある。礫層は円礫の海成層である。西側は浜石岳層群の礫岩層に接し断層が境界にみられる。海岸にそっては砂層が堆積するが人工改変が著しい。

気象概況

年平均気温は推定 15.5°C程度、年降水量が富士川町桑木穴で 2,353mm である。典型的な表日本型の気候で、冬季は温暖で穏やかな晴天の日が続く。降雨は県内の平均であり、梅雨から夏季(5月～8月)に全降水量の約 50%が降る。

災害事例 地震

- 1944年12月7日(昭和19年)東南海地震 M=7.9
県中・西部で被害が大きかった。当地では震度5～6であった。
- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震 M=8.4
全県下に被害を及ぼした大地震。当地では地割から砂水噴出し、全潰3戸、半潰35戸、破損36戸などの被害が出ている。また富士川の右岸が隆起した。震度は蒲原で7、小金で6～7、神沢で6と推定される。
- 1707年10月28日(宝永4年)宝永地震 M=8.4
全県下に被害があったが、当地でも過半数の家が潰れ、また山崩れによっても、多くの家がおしつぶされた。

災害事例 台風

- 1966年9月25日(昭和41年)台風26号
全県下特に中部で被害が大きかった。25日1時半頃、4mの防潮堤を越えて高波が襲った。被害は全壊17戸、半壊51戸、みかんの50%、水稻の70%に損害を生じた。